



“ぎまままに”

川柳

今月のお題

梅雨

あじさいの 花傘ひらく 雨の玉 <small>チロ</small>	梅雨空に カラフル傘で おでかけよ <small>ジョージ</small>	梅雨帰途 相合傘の すれちがい <small>森本千代美</small>	梅雨晴れま 洗濯物が 山のように <small>ラン</small>	入梅雨や 水不足だよ ありがとう <small>加藤正光</small>	部屋干しの 香りが満ちる 梅雨最中 <small>月丘夢子</small>	梅雨入りを 見て感ずるは カタツムリ <small>ダンニヤバード</small>	早起きて 腕に愛込め 田植かな <small>足立昌代</small>
--	--	---	---	---	--	--	--

■応募方法
住所・氏名またはペンネームを明記し、直接または郵送、Eメールで広報広聴係へ。
〒509-5192 (住所不要) ✉ koho@city.toki.lg.jp
☎ ⑤ 1111 (内線613) / FAX ⑤ 7750
※応募多数の場合は採用されないことがあります。

7月1日号の投稿募集
お題は「年に1度」です (1人1句)。
締め切りは6月19日(水)です。

わたしのほやねさん

「ほやねさん」とは…
つらいときや悩んだとき、そっと寄り添って「ほやね、ほやね」と話を聞いて、心を支えてくれる人

私と主人の実家は県外なので、近くにすぐ頼れる人はいません。平日は主人の帰りが遅いため、完全な『ワンオペ育児』状態です。ですから『自分達だけでやらなければいけない』という思いで日々の子育てをしています。

そんな中、色んなちょっとした優しさが私にはとても嬉しいのです。抱っこひもで子どもを抱っこしながら買い物するとレジの方が袋詰めしてくれたり、後ろに並んでいたおじさんがカゴを運んでくれたり。外出先にオムツ替えの台があるだけでも全然違います。お店などに子どもを座らせるカートがあるのも助かります。病院で診察待ちをしていると子どもに『可愛いねえ』と話しかけてくれるおじいちゃんやおばあちゃん。二人目を出産した直後、上の子の習い事の送迎をしてくれたママ友。外食先でゆっくり食べられないだろうからと子どもを抱っこしてくれていた店員さん。人から受けた優しさはとても印象に残り、子育てのマイナスな気持ちがプラスに変わって、気持ちに少し余裕が出来ます。そしてまた子育てを頑張れるのです。

子どもを連れてお母さんを見かけたら『お母さんたいへんだけれど頑張ってるね。えらいね。』と声をかけてあげてください。私のようにまた頑張ろうって思えるママがたくさんいると思います。



ペンネーム 母ちゃん頑張るよ! (土岐津町)



募集

掲載の「わたしのほやねさん」ストーリーの他、市内に実在する「まちのほやねさん」を募集します。あなたがこれまでに出会ったほやねさんを400字程度の紹介文と一緒にお寄せください。

■応募方法
住所・氏名またはペンネーム・電話番号を明記し、直接または郵送、Eメールでまちづくり推進課へ。
〒509-5192(住所不要) ✉ machisui@city.toki.lg.jp
☎ (内線312) / FAX ⑤ 7763